

【新規格付け】 福祉医療機構

第7回福祉医療機構債券： A A

第8回福祉医療機構債券： A A

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付けを公表しました。**【格付け理由】**

厚生労働省の所管する独立行政法人。事業の柱は社会福祉施設と医療施設の新設・増改築向け融資で、急速な高齢化が進むなか政策的重要性は高い。事業を支える制度も今のところ強固だ。ただ福祉医療機構が独占していた社会福祉施設向けの貸し付けは、2004年度から民間金融機関に一部開放された。医療貸し付けは政策的観点からリスクの高い医療法人への融資拡大を求められるかもしれない。2006年度に年金資金運用基金から住宅ローン債権4兆円弱を引き継ぎ、債権回収する。規模は大きいものの機構が貸し倒れを実質的に負担することはないため信用力への影響は小さい。

格付けの方向性は安定的とした。機構事業の政策上の重要性を考慮すれば政府が機構への支援体制を弱める可能性は低く、日本のソブリン格付け(A A A、方向性はネガティブ)が若干下がっても、機構の信用力に与える影響は限定的とR&Iは見ているためだ。

【格付け対象】

発行者：福祉医療機構

名 称	第7回、8回福祉医療機構債券(一般担保付)
発行額	第7回=100億円、第8回=290億円
発行日	ともに 2005年11月14日
償還日	第7回=2008年12月19日、第8回=2015年9月18日
表面利率	第7回=0.59%、第8回=1.68%
格付け	ともに A A (新規)
受託会社	三井住友銀行
備 考	商法の規定に基づく社債管理会社でなく 独立行政法人福祉医療機構法に基づく受託会社を置く。

発行体格付け： A A [格付けの方向性：安定的]

発行体格付けとは、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力に対するR&Iの意見で、原則としてすべての発行体に付与する。個々の債務(債券やローンなど)の格付けは、契約の内容や回収の可能性などを反映し、発行体格付けを下回る、または上回ることがある。